

第1回 忠和地区の水防災を考える ワークショップ

第1回 忠和地区の水防災を考えるワークショップを開催しました

- ◆日時：平成24年11月18日(日) 13:30～16:30 ◆場所：旭川市忠和地区センター
- ◆概要：本ワークショップの開催趣意を確認した上で、参加いただいた40名の皆さんを5グループに分けて「①地域はどう変わったのか?」「②水災時に危険な場所はどこ?」「③水災害時の備えはどうしていますか?」「④被害が発生しそうで心配な時の行動は?」について討議と発表を行い、地域の水災害・水防災についての問題点を共有しました。

第1回 ワークショップ メニュー

1. 開会
2. 開会挨拶
 - ・忠和地区市民委員会 会長
 - ・旭川市
3. ワークショップ
 - (1)ワークショップの開催趣意
 - (2)ワークショップの進め方
 - (3)ワークショップ参加者の自己紹介(グループ毎)
 - (4)グループワーク
 - ①地域はどう変わったか?
 - ②水災時に地域の危険な場所はどこ?
 - ③水災害の備えはどうしていますか?
 - ④被害が発生しそうで心配な時の行動は?
4. 今後の予定等



ワークショップ開催趣意

近年、全国各地で深刻な豪雨災害が相次いで発生しています。これらの災害では避難勧告・避難指示の発令の遅れや発令されても避難をしない住民の存在、乳幼児や高齢者を始めとする災害時要援護者の安全確保の問題など、危機意識の低下、地域の災害時の共助体制の脆弱化など、様々な課題が明らかになっています。

旭川市洪水ハザードマップによると、忠和地区では浸水深5mを越える地域もあり、水害時には大きな被害が発生する可能性があります。しかし、石狩川や忠別川の氾濫による水害の実績・教訓を知る人が減少しており、このような中で大水害が発生した場合には、全国各地で発生している豪雨災害と同じように様々な問題が発生する可能性があります。

このため、旭川市と旭川開発建設部では、当地区に居住されている方とともに地域防災力向上のための取組みを考える『忠和地区の水防災を考えるワークショップ』を開催することといたしました。

ワークショップで地域防災力の向上を目指します

このワークショップでは、『更なる地域防災力の向上』を目指して、地域と行政が協働で取り組むことの確認や具体的な防災啓発について地域の皆さんと合意形成を図りながら進めることを予定しています。

このため、第1回ワークショップでは、水災害に関する地域の危険性や水災害時の行動についてグループ討議で確認するとともに、普段の防災啓発に関する札幌市での事例について紹介があり、忠和地区での必要性について話し合いを行いました。

第2回では、タウンウォッチングなどを通して、地域の課題を掘り下げて議論を行いながら、グループ討議や意見交換を通して『地域防災力の向上』のための具体策を考えていきます。

第1回

- ※地域の危険性
- ※水災害時の行動

第2回

- ※タウンウォッチング
- ※地域の課題を再確認
- ※まとめ

グループワーク（討議）



(1) 地域はどう変わったか？

忠和地区の今と昔の地図を重ねて、この地域がどのような場所に現在の住宅地が形成されているのか、水害に対してどのような特性を持っているのか、などについて確認しました。

(2) 水災時に地域の危険な場所はどこ？

地域の皆さんだからこそ知っている「水災時に起きる事象と危険な箇所」を、今の地図を見ながら具体的に上げて確認しました。

また、各グループからの発表後に、旭川開発建設部から浸水被害の発生形態として破堤による外水氾濫と樋門等の操作による内水氾濫についてレクチャーがありました。

(3) 水災害の備えはどうしてますか？

普段の生活の中や台風が近づいてきたときに、地域の皆さんが行っている備えを具体的に出し合いました。

(4) 被害が発生しそうで心配な時の行動は？

台風が上陸して大雨が降り続いて不安を感じたときに、地域の皆さんが取っている行動を具体的に出し合いました。

また、各グループからの発表後に、旭川地方気象台から「水災時の情報収集」について、旭川開発建設部から「まるごとまちごとハザードマップ」(※注1)についてレクチャーがありました。

その後、忠和地区で「まるごとまちごとハザードマップ」を行うことについて話し合いました。

※注1：洪水ハザードマップの更なる普及浸透、洪水時避難場所等の認知度向上のため、浸水深標識・洪水時避難場所表示板・洪水時避難所誘導標識を設置する取組み。

グループワークの総括

各グループで出された意見を取りまとめ、各グループの代表者の方々に発表していただきました。

■ 地域はどう変わったか？

- ・昔川だったところが住宅や農地になった。
- ・川が直線的になり築堤が整備されている。

■ 水災時に地域の危険な場所はどこ？

- ・忠和〇条△丁目等の具体的な場所と発生する被害形態(内水・崖崩れ)が発表されました。

■ 水災時の備えはどうしてますか？

- ・避難グッズを用意している。
- ・家族との避難場所、連絡先を確認。

■ 被害が発生しそうで心配な時の行動は？

- ・物が飛ばないように片付けたり固定する。
- ・家族の安否確認のため連絡をとりあう。
- ・テレビ、ラジオで気象情報等を収集する。
- ・避難経路、避難場所の確認をする。

■ まるごとまちごとハザードマップは忠和地区に必要でしょうか？

- ・普段から防災意識を啓蒙する上で必要。



ご意見・お問い合わせ先

旭川開発建設部 旭川河川事務所 計画課
〒079-8411 旭川市永山1条21丁目
電話 0166-48-2131 FAX 0166-47-7075